

ドラムチックな婚活を

アフリカの太鼓「ジェンベ」でパーティー

仙台の
会社企画

アフリカの伝統的なドラムと結婚活動(婚活)を組み合わせたイベントが、仙台市で始まった。独身の男女が共に太鼓をたたいて遊ぶ「出会いの場」。主催者は「太鼓が互いの心を通わせるきっかけになってほしい」と話している。

イベントは「大人のハ、弾んだ雰囲気になり、メルビートパーティー」ールアドレスを交換したと名付け、結婚式場紹介、デートの約束をした業の「アートフライダル」りする人もいた。料金は(仙台市)が、アフリカ 飲食込みで男性5000円、女性4000円だった。普及を目指す「ドラムカフェジャパン」(同)と協力して実施する。

ドラムカフェは西アフリカ伝統の太鼓「ジェンベ」を演奏者の指示に従ってたたきコミュニケーションの手法で、組織の一体感を醸成するなど企業研修にも導入されている。今回はこれを婚活の場で活用する。

参加者は男女交互に座り、30〜40分ほどかけて息を合わせてジェンベをたたき、その後、懇親会に移り、みんなで食事と酒を楽しむ。自己紹介をするコーナーも設ける。

5月下旬に仙台市内で開いた初めてのパーティーには、26〜48歳の独身男女約30人が参加した。ドラムのおかげかすく

体験共有親密に 演奏後の会話テンポよく

りも参加者が親密になるまでが早かった。『手が痛いね』とか同じ話題で盛り上がる。』とアートフライダルの佐藤律子社長。「身構えてしまい、異性に思いを伝えられない人が多い。そういう人が打ち解けるための道具に太鼓を活用していきたい」と話す。

今回は8月28日に100人規模で開催する。料金などは未定。連絡先はアートフライダル022(721)1122。

演奏者の指示に従ってジェンベをたたき参加者仙台市青葉区中央2丁目のイベントスタジオ「ラテンカクテル」

「ほかのパーティーよ

参加した泉区の事務職の女性37は「ほかの婚活パーティーに比べて堅苦しくないのがいい。共通の体験をしているので会話もしやすい」と笑顔で話した。

